

様式第4号（第5関係）

### 活動結果報告書

平成29年8月10日

越前市議会

議長 前田一博 殿

議員氏名 佐々木富基



下記のとおり報告します。

日 程 平成29年7月28日(金曜日)～平成29年7月29日(土曜日)

活動先 東京都 東京駅八重洲カンファレンスセンター

活動目的 議員としての質問力アップを目的とする  
1. 質問準備の効果的な方法  
2. 議会や委員会での質疑やりとり向上研修

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

○ 別紙のとおり

## 地方議員研修会 質問力アップ集中講座

日時 平成 29 年 7 月 28 日 14:00-16:30 質問準備の効果的な方法  
平成 29 年 7 月 29 日 10:00-12:30 議会や委員会での質疑やり取り向上研修  
場所 東京八重洲カンファレンスセンター  
講師 宮本正一 氏 (元寝屋川市議会議長・現日本公共経営研究所代表)

### 1. 質問準備の効果的な方法

\*自分の経歴から質問を作る。

当選当初から同じプロフィールになっていないか？新しい資格の習得など本人のスキルアップが必要である。

\*興味のある分野への挑戦

自分のテンションが継続できるような分野を発掘し、議会活動に生かすことが重要である。

\*自分の公約から質問を作る。

選挙出馬時の市民に対する公約が、行政に反映されているか見極めることが重要である。

\*日常の議員活動から質問を作る。

国・都道府県からの情報収集→内閣府からの統計情報が有効

e-s t a t (政府統計の総合窓口) 各省庁が独自に運営するwebサイトに散在した情報を本サイトに集約

これらの統計情報を基に国の担当窓口と内容の充実を図り、最新情報にて質問に対応すべきである。

### 2. 議会や委員会での質疑やり取り向上研修

\*なぜ、あなたの質問は執行部に響かないのか？質問の効果について

一般質問・質疑は、背景・質問の幹の設定・項目抽出など「原稿の木」で整理がなされているか事前に検討してから作成をすることが重要である。

質問効果は、執行部の所信を質すことにより政治姿勢を明らかにし、結果とし現行の政策を変更、是正させ新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

\*執行部の「検討します」「調査研究します」への切り返しの極意

#### ①年間原稿作成シート

各議会ごとに「年間原稿作成シート」に基づき年間計画を立て、視察先選定についても目的達成の為、計画的に実施すべきである。

一つのテーマについて代表質問・一般質問・常任委員会など年間を通じて徹底して追及して行くことが重要である。検討しますから実施しますへの方針転換につながる。

#### ②答弁マトリクスシート

過去の質問の経過を項目別に各議会ごと整理をする。

他議員との目的達成の為連携を取ることも重要である。

### 3. 所感

越前市議会では、平成14年に一般質問の一問一答方式の導入、平成22年には議会基本条例を制定し市長の反問権の導入、平成24年からは議会放送のネット配信、平成28年からは、議会モニター制度が始まり議会改革が進められている。議会モニターの皆さんから議員の一般質問の内容充実など議会全体の貴重な意見が提案された。これらの意見を踏まえ質問力アップ集中講座を受講した。

日常の議員活動の中で目的を持ち、選挙公約をどこまで実現できたかを自己評価し行政にどのように反映されたかをチェックして行く必要性を感じた。

質問の年間計画・答弁マトリクスシートを作成することは重要である。理事者の「検討します」から「実施します」まで移行するためには、国の最新の統計情報e-statの有効活用・先進地の視察など情報の蓄積が必要である。代表質問・一般質問・常任委員会で事業内容を質して詰めていく手法について、今回の研修は参考になった。